

統合報告書作成セミナー

作成と開示における重要性(マテリアリティ)及び KPI の役割

主催: 有限責任監査法人 トーマツ
統合報告アドバイザリー室

企業と投資家との対話の手段として、統合報告書作成に挑戦する企業が増えています。それに伴い、長期の企業価値創造の観点から、どのように重要な事項を選択し開示すればよいのか、また、企業の価値創造ストーリーの確からしさを高めるために、どのような点に留意して KPI を設定し、開示すればよいかという統合報告書作成実務者からの問い合わせが増えております。

私共、有限責任監査法人 トーマツは、このようなニーズに応えるために、統合報告書作成実務担当者を対象に、統合報告書作成セミナーを開催します。

本セミナーの講師を担当する三代まり子氏は、会計監査の実務経験を経て、知的資本・資産イニシアチブ(WICI)にて日本の製薬、自動車、電子部品産業の KPI 開発に従事後、2011 年～2013 年に国際統合報告評議会(IIRC)の Technical Manager として企業報告に関する国際的な開示の枠組み(国際統合報告フレームワーク)および Connectivity Background Paper の開発に関与しました。

統合報告書関連の豊富な経験を持つ講師が、統合報告書作成実務者が直面する課題である、統合報告書の作成と開示における重要性(マテリアリティ)及び KPI の設定・開示についての勘所をお伝えします。

また、参加者間のグループワークを通じて、課題解決に向けたヒントを講師やファシリテーターとともに話し合います。ご多忙とは存じますが、この機会に是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 対象者 IR 部門、CSR 部門、経営企画部門の統合報告書作成実務担当者様
- 開催日時 2015 年 12 月 11 日(金) 14:00～16:40 (開場:13:30)
※会場の都合により受付開始時間より前に入場できない可能性がございますので予めご了承下さい。
- 会場 東京国際フォーラム ガラス棟 6 階 G604
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号
- 定員 12 名
※ 同業者の方、もしくはお申込みが定員を超えた場合にはお断りする場合がありますので、ご了承下さい。
- 受講料 無料

※過去にデロイト トーマツ グループ各社のセミナーにお申込みいただいた方、または現在当グループのメールマガジンをご購読いただいている方は、ご設定済みの ID・パスワードで簡単にお申し込みいただけます。

※まだ ID・パスワードをお持ちでない方は、上記 Web サイトより、[新規ユーザー登録はこちら]をクリックし、ID・パスワードを設定してユーザー登録をお願いします。その後、設定した ID・パスワードでログインしてセミナーにお申込みください。

■ 申込方法 Web サイト(<http://www.deloitte.com/jp/semi2745>)よりお申込ください

- ※ お申込は株式会社シャノンのサービスを利用しています。
- ご記入いただく内容は SSL 暗号化通信により内容の保護を図っております。
- ※ 受講者の方へはセミナー開催日 1 週間前を目途に受講票をお送りいたします。当日受講票とお名刺をお持ちの上、ご来場下さい。


■ セミナー内容

時間	テーマ
14:00～15:30 (90分)	<p>第一部 「統合報告書作成と開示における重要性(マテリアリティ)及び KPI」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「企業の長期の価値創造の観点からどのように重要な事項を選択し、開示すればよいのか」についてのポイントを事例紹介を踏まえて説明します。 ■ 「KPI とは何か」について改めて捉えなおし、従来の KPI の問題点について事例を踏まえ確認します。 ■ グループワークを行い、参加者間で問題意識を共有し、解決に向けたヒントを講師やファシリテーターとともに話し合います。
15:30～15:40	休憩(10分)
15:40～16:40 (60分)	<p>第二部 「統合報告書における KPI の役割」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「企業価値創造ストーリーの確からしさを高めるために開示する KPI について、どのような点に気を付けて設定し、開示をすればよいか」についてのポイントを事例紹介を踏まえて説明します。

※講演テーマ・講師は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

※事前に IIRC 国際統合フレームワーク(<http://integratedreporting.org/resource/international-ir-framework/>) のご一読をお願い致します。また、デロイト トーマツ グループのウェブサイトにも IIRC 国際統合報告フレームワークについて参考資料を掲載しておりますので、ご参照いただけますと幸いです。(<http://www2.deloitte.com/content/dam/Deloitte/jp/Documents/audit/iac/jp-iac-iirc-ir.pdf>)

■ 講師

 <p>三代 まり子 氏</p> <p>RIDEAL 代表 米国公認会計士(カリフォルニア州)</p>	<p>(経歴)</p> <p>2005 年～2010 年: 新日本有限責任監査法人にて会計監査、調査研究などを担当。知的資本・資産イニシアチブ(WICI)にて日本の製薬、自動車、電子部品産業の KPI 開発に従事。</p> <p>2011 年に独立。企業の統合報告コンサルティング、報告書レビュー、ステークホルダーダイアログでのアドバイザーの他、国内および海外において、一般事業会社、金融機関、大学等で統合報告に関連するセミナーを実施。</p> <p>2011 年～2013 年: 国際統合報告評議会(IIRC)にて、Technical Manager として企業報告に関する国際的な開示の枠組み(国際統合報告フレームワーク)および Connectivity Background Paper の開発に関与。</p> <p>2014 年 4 月～現在: 早稲田大学商学学術総合研究所 WBS 研究センター招聘研究員。</p> <p>(主な執筆活動)</p> <p>『国際統合報告(IR)フレームワークの特徴と課題』 企業会計(中央経済社)2014/5、 『国際統合報告評議会における統合報告の役割～「金融の安定化」と「持続可能性」の両立に向けて～』 経済経営研究 Vol.35 No.1(日本政策投資銀行)2014/7</p>
---	---

■会場:

東京国際フォーラム ガラス棟 6階 G604

(住所: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)

※6階へは地下1階のエレベーターでお上り下さい。(http://www.t-i-forum.co.jp/user/facilities/conference/)



<アクセス>

JR 線

有楽町駅より徒歩 1分

東京駅より徒歩 5分

(京葉線東京駅とB1F 地下コンコースにて連絡)

地下鉄

有楽町線 : 有楽町駅(B1F 地下コンコースにて連絡)

日比谷線 : 銀座駅より徒歩 5分/日比谷駅より徒歩 5分

千代田線 : 二重橋前駅より徒歩 5分

/日比谷駅より徒歩 7分

丸ノ内線 : 銀座駅より徒歩 5分

銀座線 : 銀座駅より徒歩 7分/京橋駅より徒歩 7分

三田線 : 日比谷駅より徒歩 5分

■問い合わせ先

有限責任監査法人 トーマツ セミナー事務局 (担当 田中/中野)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル

TEL: 03-6213-1113/E-mail: risk-seminar@tohmatu.co.jp

※Web よりお申込みができない場合は、セミナー事務局までご連絡ください。

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人および DT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 8,500 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte (デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッドならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTL およびそのメンバーファームについての詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited